



見通す力と強い心

右の像を見たことがありますか？この像は、ピロティ横の時計台に向かって左に建てられています。

この像は、「広目天（こうもくてん）」と言います。「広目天」は、仏教でいう四天王の一人で、帝釈天に仕え、仏様を守っていると言われていました。

「広目天」という言葉の語源は、「特殊な目を持つ者」という意味のサンスクリット語だそうで、このことから、「広目天」は、あらゆるものを見通す力があると言われていています。像の顔を見ると、確かに鋭い目をしていることがわかります。また、足下には邪鬼が横たわっており、踏んづけています。この邪鬼は、四天王が従えているもので、四天王によって、今では仏教を守る存在になっていると言われていています。

この「広目天像」が三豊中学校の校内に建てられたいきさつは分かりませんが、「広目天」のことを調べてみると、三中生に「先を見通す力」と「悪いことに打ち勝つ強い心」を持ってほしいという願いから建てられたのではないかと思います。

今、私たちは新型コロナウイルスと戦っています。感染状況は日々変わっており、これからも油断できない状況です。そのような中でも、最大限の感染防止対策を取りながら、できる限りの活動をしていくことが大切です。先を見通し、どんなことならできるか、知恵を出し合って頑張りましょう。また、コロナ禍においては、大人も含め、いろいろな人が不安や不満を抱えています。そのイライラを、人にぶつけてしまうことは愚かなことです。こんな時だからこそ、強い心を持ち、相手の立場を理解し、温かく人に接することができる三中生でいてください。

「広目天」が、いつも皆さんを見守ってくれています。



<三中生のちょっとしたいい話>

先日のホームページブログにも掲載しましたが、1学期末懇談会の時にご協力いただいた令和3年7月大雨災害義援金を、生徒会長の久保文乃さんから、日本赤十字社香川県支部の山田事務局長様にお渡ししました。（詳しいご報告は、生徒会だよりでさせていただきます。）



翌日の四国新聞「ドキュメント」に掲載されていたように、本来は、体育館での始業式後に贈呈式をして、全校生の善意として、生徒の皆さんがいるところでお渡ししたかったのですが、感染防止のために始業式を放送に変更したので、校長室でお渡ししました。体育館でできなかったのは少し残念でしたが、皆さんの気持ちは、義援金ともにお渡しすることができたと思っています。生徒の皆さん、保護者の皆さん、ご協力、ありがとうございました。